令和8年度タイラギの生息状況について（５５点調査結果）

令和8年11月27日　　佐賀県有明水産振興センター

1. 目的

この調査は毎年1回実施し、有明海湾奥部（干潟域を除く）におけるタイラギの生息状況を広域的に把握するものである。

2. 調査年月日

令和8年10月4～9日に実施。

3. 調査方法

① 潜水器船で、合計55地点を調査。
② 各調査地点の海底に、100m のロープを潮流方向に張り、ロープ沿いの幅1ｍの範囲内（100㎡）にみられた生物を採取。
③ 採取した生物は、有明水産振興センターに持ち帰り、殻長、重量等を測定。

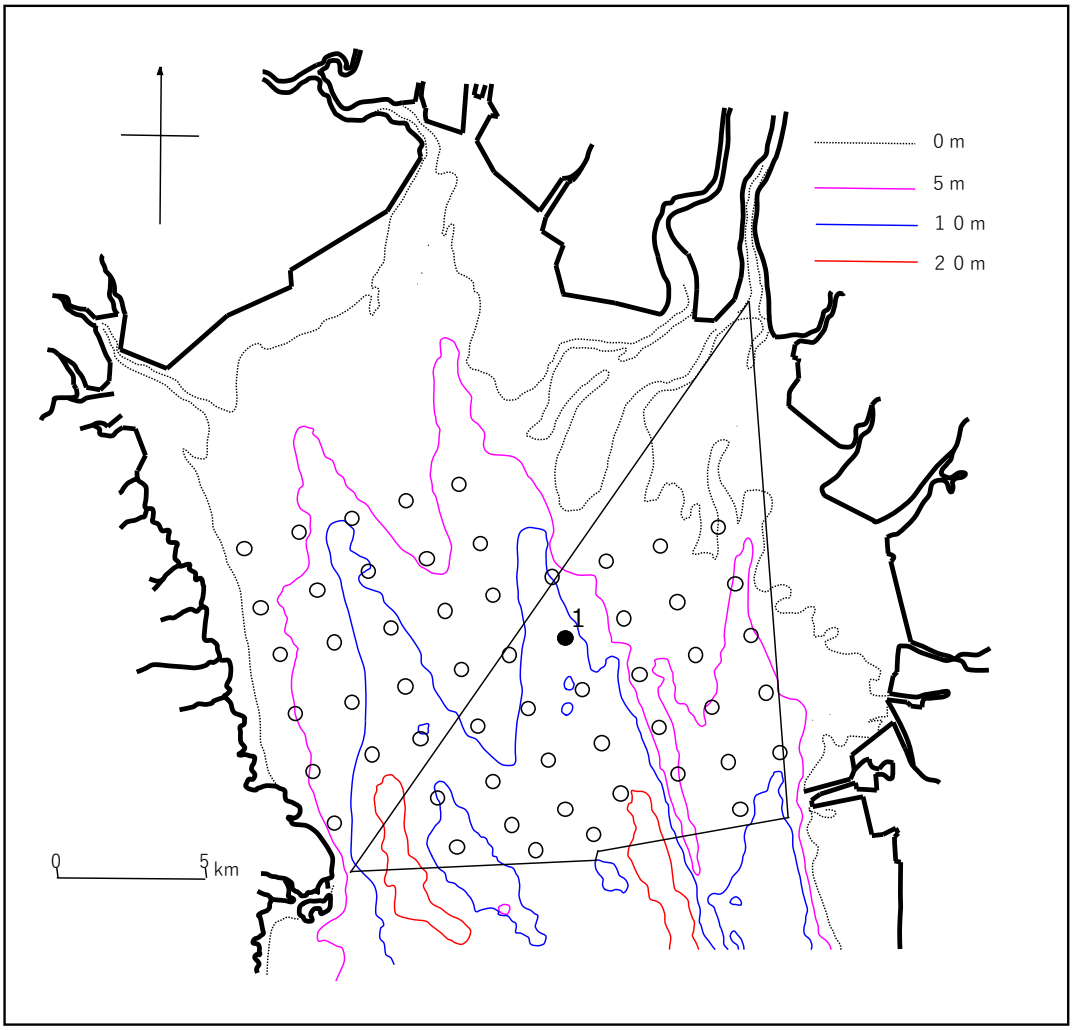
4. 調査結果

① タイラギ成貝の生息状況

図1に示したとおり、成貝は55地点中1地点で確認された。100㎡当たりの採捕数は1個であった。その殻長は、163㎜であった。

② タイラギ稚貝の生息状況

図2に示したとおり、稚貝は55地点中12地点で確認された。100㎡当たりの採捕数は最高で40個であった。平均殻長は、62㎜（34～117㎜）であった。

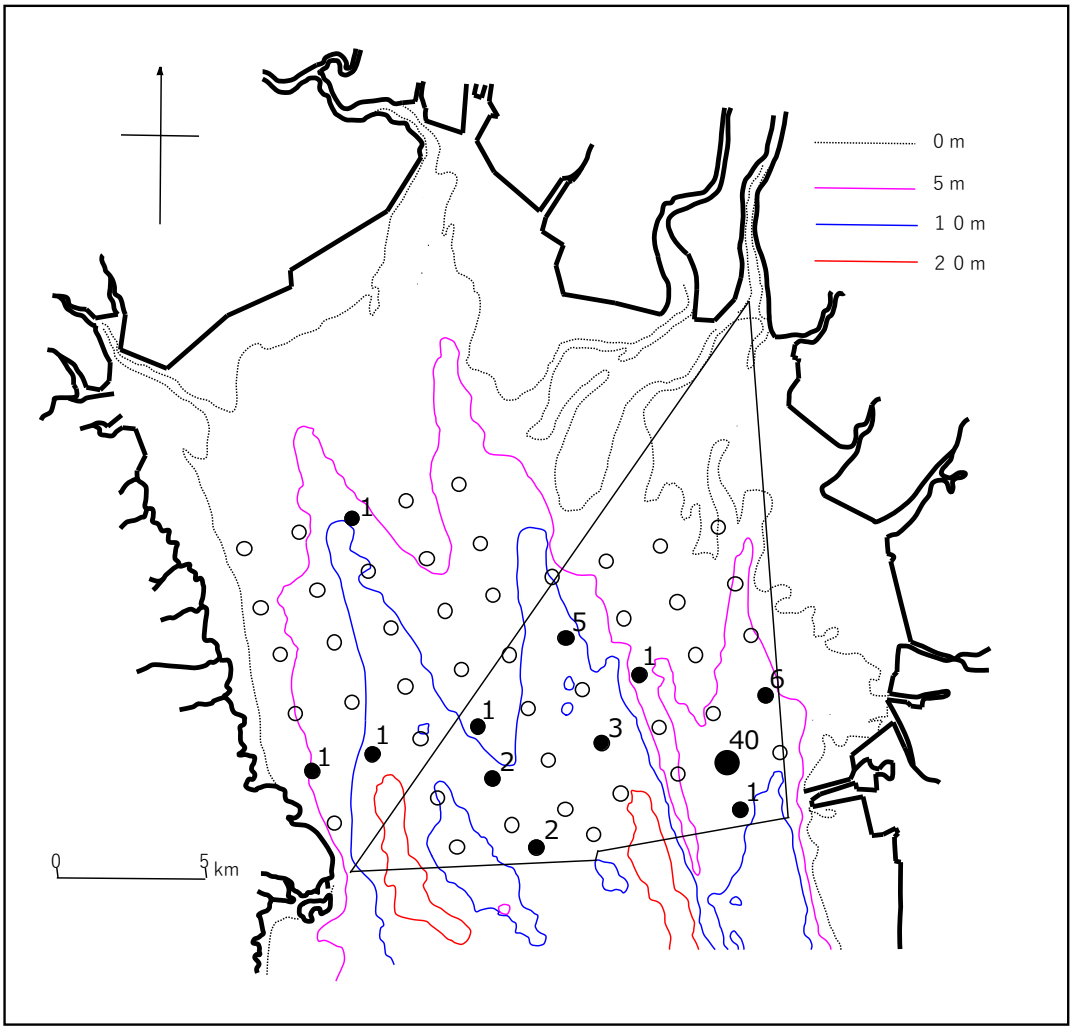


調査日：令和8年10月4～9日

● ：≧100個体/100㎡　● ：＜100個体/100㎡
● ：＜50個体/100㎡　● ：＜10個体/100㎡
○ ：＝0

タイラギ成貝生息密度 （令和8年度55点調査）

図1 タイラギ成貝の生息状況



調査日：令和8年10月4～9日

● ：≧100個体/100㎡　● ：＜100個体/100㎡

● ：＜50個体/100㎡　● ：＜10個体/100㎡

○ ：＝0

タイラギ稚貝生息密度 （令和8年度55点調査）

図2 タイラギ稚貝の生息状況